

令和元年度 自己評価書・学校関係者評価書

「4」■ そう思う 「3」■ どちらかといえば、そう思う 「2」■ どちらかといえば、そう思わない 「1」■ そう思わない ■ 無回答

①豊かな心をはぐくむ教育の推進

1 一人一人の児童生徒の尊重	2 友達への思いやり	3 道徳・心の教育の充実
学校は、一人一人の子どもを大切にしたい指導や対応ができていますか。	子どもは、友だちとなかよくしていると思いますか。	学校は、豊かな人間性を育む心の教育の充実に努めていると思いますか。(礼儀、生命尊重、思いやりなど)
【1 一人一人の児童生徒の尊重】「3」「4」の割合が保護者は82%、児童は88%、教職員は93%と高評価である。一方で、「1」「2」と回答した児童は11% (27人)、保護者は17% (65人) いることから、児童や保護者の思いに寄り添った指導や対応を今後も心掛ける必要がある。【2 友達への思いやり】「3」「4」の割合が保護者は、児童ともに94%と高評価である一方で、教職員は71%と認識の差が大きい。学校では今後も継続して「呼び捨てをしない」、「乱暴な言動をしない」等、他者を思いやる心を育むとともに、各学年の発達段階に応じた人権学習を実施していきたい。【3 道徳・心の教育の充実】「3」「4」の割合が保護者は88%、教職員は96%と二者ともにほぼ昨年度同様高評価である。今後も考え議論する道徳の授業づくりの他、学校教育活動全体で心の教育に努めるとともに、親子道徳の日や道徳授業参観を実施したり、学校の取組を学校・学級だよりや懇談会で保護者へ発信したりしていきたい。		

②確かな学力を育む教育の推進

4 意欲的な学習態度	5 授業力向上	6 ICT活用
子どもは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。	先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。	先生方は、ICT機器を活用してわかりやすい授業づくりに努めていると思いますか。
【4 意欲的な学習態度】三者共に「3」「4」の割合が80%超と高評価である。これは下記「授業力向上」「ICT活用」の取組の成果と考えられる。今後も確かな学力を育む教育の推進に努めたい。【5 授業力向上】「3」「4」の割合は保護者は90%、児童は85%、教職員は100%という結果から、教職員の授業力向上のための取組が高く評価されていると言える。今後さらに「1」「2」と回答した15% (37人) の児童にもわかる喜びを味わわせることができるよう、校内研修等をおしてさらに授業力向上に努めたい。【6 ICT活用】ここ数年評価の高まりが見られ、三者共に「3」「4」の割合が90%を上回っている。今後さらに電子黒板やタブレット等ICT機器の効果的な活用法や教材づくりについての研修を充実し、わかりやすい授業づくりに努めたい。		

③健やかな体を育む教育の推進

7 健康づくり
子どもは、好き嫌いなく食事をし適度な運動と十分な睡眠に気をつけて生活していると思いますか。
「3」「4」の割合が68~85%と三者の差が大きい。また昨年度と比べ保護者はほぼ同様、教職員は23%、児童は8%程度下回った。食・運動、睡眠のいずれに課題があるのか分析をし、課題解決に向けた取組を家庭やPTA等と連携しながら行っていきたい。

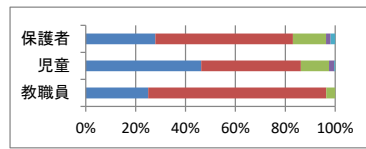
①いじめ不登校などに対する相談支援体制の充実	②特別支援教育の推進
<h4 style="text-align: center;">8 児童生徒理解</h4> 先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようとしていますか。	<h4 style="text-align: center;">10 学校の支援体制</h4> 学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。
【8 児童生徒理解】「3」「4」の割合が保護者は約90%、教職員は昨年度同様100%と、保護者の意識もかなり好意的であり、教職員のきめ細やかな対応等の努力が評価されたものと思われる。児童も82%と高いものの、「1」「2」の割合が18% (42人) いることから、今後も一人一人の児童がもつよさを見つけ、認め、褒め、励ますことで、児童の自尊感情を育てていくとともに、さらに児童生徒理解に努めていきたい。【9 いじめや問題への対応】三者共に「3」「4」の割合は昨年度並みを維持しており、学校の迅速な対応は一定の評価を得ていると思われる。しかし、「1」「2」と回答した割合は児童が13%、保護者が18%いる点を踏まえ、より迅速かつ丁寧な対応・報告を心がける必要がある。【10 学校の支援体制】例年高く評価されており、「3」「4」と回答した保護者の割合は85%、教職員は89%である。これは特別支援コーディネーターを中心とした、学級担任と学級支援員等との連携の成果であると思われる。また必要に応じてSCやSSW等、外部の関係機関とも連携しており、今後も組織的に対応していきたい。	

①子どもたちの身近な安全対策の充実	②最適な学習環境の整備
<h4 style="text-align: center;">11 安全と事故防止</h4> 学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。	<h4 style="text-align: center;">12 施設・設備の安全管理</h4> 学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。
昨年度同様三者共に「3」「4」の割合が90%を超えており、学校の安全教育への取組や青パト隊による放課後パトロール等が高く評価されていると言える。今後も学校安全計画に基づいた安全教育のさらなる充実、必要に応じた学校安全計画の見直し等を行うことで、事故防止に努めたい。	
「3」「4」の割合が保護者と児童は80%、教職員は90%を超えている。普通教室を中心に空調設備が完備したことにより快適な学習環境が整った一方で、「1」「2」と回答した児童・保護者はそれぞれ約50人いる。今後も日常・定期的な安全点検の充実を図り、安全管理に努めたい。	

③家庭・地域社会との連携強化

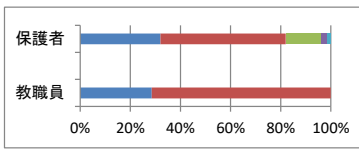
13 教育方針・目標の理解

学校は、教育方針や教育目標などを、子どもや保護者地域にわかりやすく示していると思いますか。



14 家庭や地域との連携協力

学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。

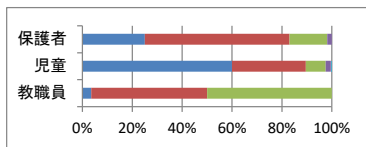


【13 教育方針と目標の理解】「3」「4」と回答した保護者は83%、教職員96%と昨年度とほぼ同様、児童86%（昨年比-7%）であった。全体として高い評価を得ているのは、学校・学年・学級だよりや保健だより等の発行、PTA総会や学級懇談会等により、教育方針や目標の理解が進んでいるためと思われる。一方で、「1」「2」と回答した児童が13%（32人）、保護者が15%（58人）おり、今後、集会や朝の会・帰りの会の工夫や学校ホームページの定期的な更新等を行い、わかりやすく効果的な周知を行いたい。
【14 家庭や地域との連携協力】「3」「4」と回答した保護者は82%、教職員は100%と昨年度同様であった。今年度も運動会やふれあいの日等、様々な行事において、家庭や地域と連携した取組を行ってきた成果であると思われる。一方で、「1」「2」と回答した保護者は16%（63人）いることから連携協力が不十分と感じており、今後、行事等の保護者アンケート結果を踏まえ、行事等の見直しを図り、地域に応じた特色ある教育活動をすすめていきたい。

⑧本校の教育

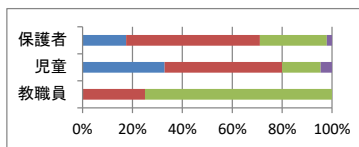
15 礼儀

子どもは、地域や学校であいさつができていますか。



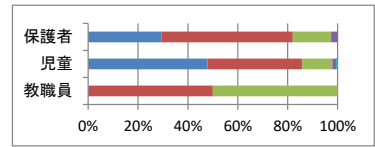
16 公共心・勤労・奉仕

子どもは、学校や家庭ではきものそろえや片付けや手伝いができていますか。



17 規律

子どもは、きまり（宿題をする、時間を守る、やっ
てはいけないことをしない）を守っていると思いま
すか。



※3項目とも「4 そう思う」と回答した割合が、児童、保護者、教職員の順に高く、また三者の評価の差が大きい。
【15 挨拶の励行】「3」「4」と回答した保護者・児童の割合が80%を超えており、昨年度同様高評価であるのに対して、教職員は50%と昨年度を21%下回った。今後も日常的なあいさつの推進、各学期ごとのあいさつ運動等、継続的な取組が必要である。【16 公共心・勤労・奉仕】「3」「4」と回答した割合は保護者が71%、児童が80%と昨年度とほぼ同様であるのに対して、教職員は25%（44）は0%と差が著しい。靴やトイレのスリッパを美しく並べることや無言掃除は学校生活において大きな課題の一つであり、今後も履物をそろえることの習慣化や日常的な掃除指導、無言掃除の推進に努めていきたい。【17 規律】「3」「4」と回答した割合は保護者が82%、児童が86%と昨年度とほぼ同様であるのに対して、教職員は50%（44）は0%と差が著しい。チャイムの合図を守れない、宿題をしない、ルールを守れない等の規範意識の低下は学力や人間関係、児童の安全にも大きな影響を及ぼす。また登下校の様子や放課後の遊び方について地域住民等からの苦情も少なくなく、今後も、教職員・児童・保護者間で成果と課題を共有しながら、家庭や地域と連携して児童の規範意識を高めていきたい。